

よみっこの子どもたちは、様々な分野でも活躍しています。

よみっこ運動で得た力は、様々な分野で発揮されています。

「国民読書年記念式典」（文字・活字文化推進機構・国民読書年推進会議主催）で朗読したり、弁論大会や言語力検定でも優秀な成績を修めたりしています。

また本を読むことで、思考力や想像力が養われ、感情豊かになるだけでなく、人前で自分の考えを発表する力や、日ごろから社会貢献活動を意識することで、人の気持ちを考え、他人を思いやる心が身につくのが、この運動の特徴です。

このように、よみっこの子どもたちは学校生活の枠を越えて活躍しております。



読売新聞

これからのよみっこ運動

この運動の輪を少しずつ広げていくため、また今後さらに地域運動として根強いものとするために、これまでに「よみっこ運動」に参加された卒業生の皆さんや、さらには地元の大学生、地元企業・商店の方々との交流を深めていく予定です。

また実行委員も広く募集をしております。本が好きで、子どもが好きな方、ぜひ参加してみたい方がいらっしゃいます。

子どもは地域の宝です。地域住民が温かく見守りながら、わが国の未来を担う本好きの子どもたちをみんなで育てていきましょう。

これからもご支援とご協力をお願いいたします。



読売新聞

よみっこ文庫

2013年9月菅野小学校の一室にて地域ケアサロンの中にオープンしたよみっこ文庫は、2019年4月より菅野小大会議室に移動し、地域の子供達と大人が本を手にして語り合える小さな図書室“よみっこ文庫”として再びオープンしました。

菅野小学校と菅野・須和田地区社会福祉協議会のご支援あつての事でした。この部屋は地域の方が外から直接出入りする事が出来る便利さがあります。お母様方や年配の方々、また授業が終わった帰りに立ち寄って本を借りて行く児童等が、気軽に本に触れ、人に触れる事の出来る場になっています。

オープン日 毎月第2、第4火曜日 12時～16時30分



主催／市川よみっこ運動実行委員会 (公財) 市川市文化振興財団
協力／すがの会 活字文化推進会議

事務局：公益財団法人市川市文化振興財団 (市川市文化会館内)
〒272-0025 市川市大和田1-1-5
TEL 047-379-5111 FAX 047-370-0180

読書が社会に役立つってほんと！

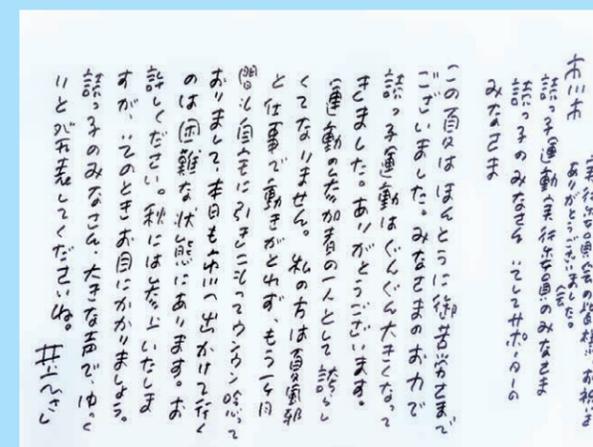
市川よみっこ運動



本を読むことで読書の楽しみを味わい、本を読むことでお金を得て、それをそっくり世の中の役立ちそうなところへ寄付する、地域の子どもたちとおとなたちが本を通じて知り合いになれると作家の井上ひさしさん（元市川市文化振興財団理事長）が提唱し、2007年から市川市で始めた地域運動です。



井上ひさし氏を囲んで (菅野小学校)



井上ひさし氏より

よみっこ運動 3つの柱

1

読書運動

思考力や想像力をはぐくむ読書の習慣を身につけます。また、感想を大人たちの前で発表することで、自分の考えをしっかりと声に出して伝える力を培います。

2

地域の交流

地域の大人が子どもたちのサポーターになって、読書運動を応援。3度の交流会を経て、毎年夏休みに発表会を行います。発表会では、子どもたちの発表を応援し、ベスト本を選択して、子どもたちに感想を伝えます。

3

社会貢献活動

発表会終了後、本を読んだご褒美として受け取ったお金を社会に役立てます。もちろん、その役立て方を考え、話し合い、決めるのは子どもたちです。

子どもたちから

- ・本の奥深さを知って、本がもっと好きになりました。(真間小2年)
- ・発表してみて、ドキドキ、ワクワクでした。ドキドキしたけどいい勉強になったと思います。(市川小3年)
- ・すごく緊張したけど、発表するのは楽しいし、面白いと思います。(宮久保小4年)
- ・本を読む大切さが分かったし、すごく面白かったです。(若宮小4年)
- ・読みたい本がたくさん見つかりました。(若宮小6年)



サポーターの方々から



- ・人の前で話すことはとても「勇気」のいることだと思いますが、みなさんは素晴らしいと思いました。自分の意見もはっきり言えてよかったです。
- ・活字離れが心配されている昨今、こんなに読書を楽しむ子どもたちがいることに感心・感動しました。
- ・一人一人、堂々と自分の想いを自分の言葉で発表出来ていて、感動いたしました。
- ・それぞれに本の内容を理解し、自分の事としてどうとらえようかと努力していて感心しました。
- ・地域の子どもたちがまっすぐに取り組んでいてうれしかったです。自信を持って発表している姿をみて頼もしかったです。
- ・みなさん、とても大きな声で発表していてびっくりしました。久しぶりに、読みたい本に出会いました。



保護者の方々から

- ・サポーターの方々から温かいお言葉をいただき、子どもたちにとっていい思い出になったと思う。
- ・日ごろ接することが少ない方々と話をしたり、発表したりという体験を、緊張しながら楽しんでいました。学校とは違う体験が出来てよかったです。
- ・地域の方に子どもを知っていただくだけでも、安全面でとても安心ですし、長く続いてほしいと思う。



「毎年、よみっこを楽しみにしています」



こまつ座 代表取締役
井上 麻矢
(井上ひさし三女)

井上ひさしが愛したまち市川で、よみっこ運動が大きく広がっているのを心からうれしく思っています。発起人であり、提唱者でもあった井上ひさしは、かなり本気でこのよみっこ運動を根付かせようとしていました。そこにはさまざまな困難があったようですが、三本の柱を中心とした活動を、心ある市川市民に支えて頂いたことを感謝しておりました。

なぜ、それほどまでにこの運動に思い入れがあったのか。それは井上ひさし自身が幼い頃に、本を読むことで生きる力をもらうことが出来たという体験があったからです。

本を読むことで得られた力が、自分だけでなく、社会に還元できるのだという自信こそが、子どもたちの成長だけでなく、大きなまちの力にもなっています。

本を読むことが力になると言い続けた井上ひさしの遺志を私も全力で応援してまいります。毎年サポーターの皆さんと、そしてよみっこの皆さんに会えるのを楽しみにしています。

実行委員長 岡本 順子

本を読んで、感じた事、考えた事を自分の言葉で人に伝えるとともに、子どもたち同士が意見を交わし共有することで、自分の考えがしっかりとし、表現も豊かになる子どもたちの成長を多く見てまいりました。また、井上先生のご提案で、よみっこ運動は読書だけでなく、子どもたちが読書を通じて地域の方々と交流し、そして地域の方々から得たご褒美の使い方を自分たちの考えで決めていくことができる貴重な場でもあります。今後とも、地域の皆様のご理解とお力添えをいただき、共に成長を見守りながら歩いていきたいと思っております。

市川よみっこ運動を支える地域の方たち

この運動は、本と子どもたちが大好きな実行委員を中心に活動しております。交流会と発表会に参加していただくサポーターの皆さんと、この運動を側面から応援して下さる支援者が、この運動を支えて下さっています。

子どもたちを大好きな大人たちが、子どもたちと一緒に社会の事を考えたり、子どもたちのために何が出来るかを考えたりする機会となっています。

よみっこ運動の流れ

